資料５

さっぽろ連携中枢都市圏の今後の方向性について

圏域の将来像

「住みたくなる」「投資したくなる」、「選ばれる」さっぽろ圏域

重点施策

- 魅力・活力にあふれ、投資や人材を呼び込む圏域に
  - ◆ 圏域外からの資金の獲得
  - ◆ イノベーションの誘発　など
- 将来を担う人材が豊富な圏域に
  - ◆ 地域に愛着を抱く若者の育成
  - ◆ 人材の呼び戻し　など
- 住民の安全・安心が確保され、持続可能な行政サービスが提供できる圏域に
  - ◆ 大規模災害や医療需要の増加等への対応　など

社会情勢の変容

新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした「新しい生活様式」の提唱等

新たな課題やニーズ

- 圏域内や道内の循環の重要性の増大
- 将来を担う人材の教育・体験機会の減少
- 新たな行政需要の増加等を契機としたより効率的なサービス提供

時代に即した重点施策の推進

圏域内や道内の循環の更なる活性化により、より魅力・活力があふれる圏域へ
子どもや若者の多様な教育・体験機会を確保し、将来を担う人材が育つ圏域へ
厳しい経済・財政状況でも、住民が安全・安心に充実した暮らしを送ることができる圏域へ

○　さっぽろ連携中枢都市圏においては、新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした社会情勢の変容のほか、2040年問題にもより適切に対応して「『住みたくなる』『投資したくなる』、『選ばれる』さっぽろ圏域」の実現を引き続き目指していくため、時代に即して、重点施策を柔軟に推進するとともに、ビジョンに掲載している47の連携事業のほか、新たな取組を実施